

ESD活動支援センター ログマーク案

注：文字の書体については、最終化の段階で最終決定します。
英語の部分は、センターの英語名称決定後にその名称に変更します。

< A案 >



ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

< B案 >



ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

< C案 >



ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

【参考】

3案に共通する色について

緑は森や自然を想起しますがこのロゴでは「持続可能な社会」を象徴させます。
そして緑色は青色と黄色の混色から生じます。(色の原理)
今回のロゴでは、この青と黄色に「学び」と「活動」の意味を持たせました。
人々の学び(青)と活動(黄)によって緑(持続可能な社会)を生み出し、育てる
=ESDを表します。

形について

<A案>

青と黄色の二つの「手」(学びと活動)によって、「新芽」(持続可能な社会)をつくり、育んでいくイメージです。

「活動支援センター」という言葉の持つ、かたい印象を柔らげ、少しでも多くの人に関心を持ってもらえるよう、切り絵のような優しく有機的な線で形をつくっています。

さらに、二つの手は上方に向かう鳥のようにも見え、葉っぱも上に伸びていくことから、未来を開いていくイメージも感じることができます。

単独ではESDの文字を表現していませんが、今後「ESD活動支援センター(地方)」や「地域ESD推進拠点」といった名称とセットで、普及していくことが可能と考えます。

*単独でESDマークとして使用するという可能性を考え、ESDの文字との組み合わせバージョンも参考までに作成。



<B案>

ESDという3つのアルファベットを一つの円に内包させ、青い「学び」と、黄色い「活動」の間に、横から伸びる緑の双葉＝「持続可能な社会」が生まれているデザインです。
幾何学的な円には、地球や世界全体(陰陽太極図)、センターという車輪・ハブあるいは羅針盤もイメージすることができます。

ロゴの中にESDの文字が表現されているので、今後「ESD活動支援センター(地方)」や「地域ESD推進拠点」と共通のマークとして、単独で使っていくことも考えられます。

<C案>

卵(「学び」と「活動」)から雛(「持続可能な社会」)が生まれるイメージです。

明るく、ポップで元気のいいデザインです。

広く一般の人に向けた、分かりやすい表現となっています。

ロゴの中にESDの文字が表現されているので、今後「ESD活動支援センター(地方)」や「地域ESD推進拠点」と共通のマークとして、単独で使っていくこともできます